

当欄からみると「折々のことば」は①軒(のき)を接する隣家のよう。言葉の泉の豊かさに感心する毎日だが、さつそうと横書きで②オウブン(欧文)を紹介されると③嫉妬(しつと)が頭をもたげる。「いつか紙面で」と書きとめた④詩歌(しいか)が先に使われると心はやはり(1)湿る▼まぶしくも気になる「折々のことば」を中高生が自作するコンテストに今年は2万7千人が⑤挑(いど)んだ。⑥クワ(詳)しくは本日の紙面に譲るが、当欄でも胸に響いた作品を紹介したい▼まずは受験生に捧げる名言から。「Dは『だめ』のDじゃなくて、『大丈夫』のDとよ」。福岡県の中3生が中学受験前、年長のいと言われた。志望校の合格判定はD、D、D。いとこの言葉で「まだ間に合う」と思い直し、みごと受かった▼沖縄県の中2生が⑦ア(挙)げたのは⑧ニンチショウ(認知症)の進む祖母の言葉だ。「脳では忘れるかもしれない。でも、心では絶対に忘れないよ」。孫の名も家への道も忘れる姿に「どうせ、私と過ごしたことも全部忘れるんでしょ」と言ってしまった時の返事という▼「男は女を裏切るし、女は男を裏切るけれど、科学は私を裏切らない」。(2)ドキッとするひと言を選んだのは横浜市の中1生。科学の先生のそのまた先生の言葉である。男女の裏切りなど人生経験の少ない自分にはわからないが、この言葉は心に直球で届いたと説明する▼当方も日頃せつせと名文句を⑨テチョウ(手帳)に集めているものの、中高生好みの歴史や政治の⑩リョウイキ(領域)にかたよりがち。10代の感性がすぐい上げた言葉の宝石に接する幸せをかみしめる。

〔2017年1月6日「天声人語」〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 傍線部(1)「湿る」と同意味の用例の選択肢を○で囲もう。

ア ひんやりと湿った空気 ① 湿った話は御免だ ウ 湿った声で話す

問三 傍線部(2)の理由を30字程度で説明してみよう。

〔答例〕(愛や信義を誓っても、それを貫けない男女の現実)に心がおののくため。

問四 次の入賞・佳作作品の発言者をあとの語群から選び、記号を書き入れよう。

a 常連校。なんて言うな。一度きりの夏なんだ。(①)

b 耳が聞こえづらいから私は皆の顔を見るの。(⑦)

c お互いを落とし合うのは友だちじゃない。(②)

e 始点と終点が同じだったら、途中どんなベクトルを経由してもいい。(④)

f 「微力」だけど「無力」じゃない。(⑤)

g 大きくなったねえ。(③)

h 許すはよし、忘れるはなおよし。(⑥)

〔語群〕①新聞広告 ②クラスメート ③周りの大人の人たち ④数学の先生

⑤植林体験授業の参加者 ⑥ロボット・ブラウニング ⑦私のおばあちゃん

問五 最優秀賞は『ハーフ』じゃない『ダブル』だ――父(神奈川 中1男子)。

これを説明した次の文章の()に同じ2字熟語をあてはめよう。

・父は、ぼくが日本人×コストリカ人なのだと(自信)を持たせたものだ。日本と同じくらいコストリカのことを知り、(自信)を持って「ダブル」と言いたい。